キズナエピソード

朝永 花織　5話

//ADV形式開始

//背景：黒

［花織］

（ゴシップってのはホント広まるのが早いな……。

ウチが中学浪人したってこと、同学年の人たちは

もう全員知ってるんじゃない……？）

［花織］

（当然、とびおくんの耳にも入っているよね。

……とびおくん、ウチのことをどう思っただろ。

幻滅……しちゃったかな？）

［花織］

（とびおくんにまで、

中学浪人のことでイジられたら嫌だな……）

［花織］

（嫌だよ……そんなの……）

//暗転

//都立有羽・教室

［とびお］

「よぉ、花織。一緒に帰ろうぜー」

［花織］

「ごめん。

ウチ、一人でやらないといけない用事があるから！」

//暗転

//都立有羽・廊下

［とびお］

「花織ー。今日は一緒に帰れるか？」

［花織］

「無理ー。ごめんねー、先生の頼み断れなくてさ」

//暗転

//都立有羽・生徒玄関（or廊下）夕方

［とびお］

「見つけたぞ、花織。今日こそは一緒に帰――」

［花織］

「あー！

そう言えば用具のチェック頼まれていたんだった！

ごめん、とびおくん。先帰ってていいよ」

［花織］

（やっぱりダメ……。

あの話題になるのが怖くて、

とびおくんと話すことなんて出来ない……！）

［花織］

（心が落ち着くまでは、このまま避け続けて――）

［とびお］

「いいや、今日は帰らないからな」

［花織］

「へっ……？」

［とびお］

「なぁ、花織。最近明らかに俺のこと避けてるよな。

どうしたんだよ。俺、なんかしたか？

悪いことしてたら謝るから、言ってほしいんだ」

［花織］

「あ、あはは、急に何言ってんの？

ウチがとびおくんのこと避けてるって？

気のせいだよ、気のせい。それじゃ――」

［とびお］

「気のせいなんかじゃない！

ホントにどうしたんだよ、花織……」

［とびお］

「……もしかして、年上だってこと隠してたからか？」

［花織］

「っ！」

［花織］

（やっぱり、とびおくんも気にするんだ――！）

［とびお］

「中学浪人して、本当は俺よりも1コ上だったの、

俺に内緒にしていたこと――」

［花織］

「だったら、何!?」

［とびお］

「花織……？」

［花織］

「そうだよ、とびおくんのこと避けてたのは、

そのことがバレたせい。幻滅したでしょ？」

［花織］

「避けてるの、気づいてるなら、

わざわざ人が気にしてること言ってこないでよ！」

［花織］

「そういう空気読めないとことか、マジ最悪……。

今まで相手してあげてたけど、

年下の子とか、ウチやっぱ無理」

//花織、このあたりから段々震え声になる。

［花織］

「付きまとわれて迷惑だから、

もう近寄ってこないでくれる……？

じゃ。」

//花織、退場

［とびお］

「花織……！」

//暗転

//都立有羽・女子トイレ

［］

都立有羽

女子トイレ個室

［花織］

「うくっ、ひぐっ……うぅ……」

［花織］

（バカ……とびおくんのバカ……。

とびおくんには、中学浪人したこと

イジってほしくなかったのに……）

［花織］

（違う……バカはウチだ……。

弱いウチが誰かと仲良くなろうだなんて

図々しすぎたんだ……）

［花織］

（バカ……うちのバカ……ほんとバカ。

なんで、中学浪人しちゃったのよ……）

［いろは］

「カオリン、そこにいるの……？」

［花織］

「いろは……？」

［いろは］

「ごめん。とびおくんとのお話、

盗み聞きする気はなかったんだけど、聞こえちゃった。

だって、カオリン。大声なんだもん！」

［いろは］

「それで、カオリン……ごめんね。

あたし、カオリンが傷ついてたのに気づけなかった。

いつも普通にしてたから大丈夫なのかなって」

［いろは］

「でも、本当は我慢してたんだね……。

カオリン、本当にごめんね……」

［花織］

「いろは……。

ありがとう。でも、今は一人にさせて。

お願い……」

［いろは］

「……うん、わかった。

じゃあ、あたし行くね」

［いろは］

「……でもさ、とびおのこと見捨てないであげて。

優しいカオリンが好きになった相手だよ？

だから、とびおは絶対、優しい人だよ」

［花織］

（とびおくんが優しい……？

わかってるよ、彼がとっても優しい人だってことは）

［花織］

（でも、それはウチと同学年だったから……！

本当は1歳年上で。しかも中学浪人してたのを隠してて。

そのうえ、あんな突き放した態度を取って……）

［花織］

（そんなウチにとびおくんがこれからも

優しく接してくれるわけないじゃん……！

見捨てられるのは、ウチの方だよ……！）

［花織］

「ひぐっ……うぐっ……」

［花織］

「うぇーん……うぇーん！」

//ヴィジュアルノベル形式終了

//5話END